

世界を駆けるビジネス、その贈賄リスクを見抜く

～無知が言い訳にならない時代のアンチ・ブライブリーマネジメント～

講師 **あ べ は る ひ** 氏 弁護士法人西村あさひ法律事務所
弁護士 ニューヨーク州・マサチューセッツ州弁護士

日時 2026年3月4日（水）午前10時00分～12時00分

■このセミナーは会場受講またはZoom受講のいずれかを選択いただけます。（1週間動画配信あり）
■当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できます（2週間）。日程指定も可能です。

海外ビジネスの現場では、贈答・接待・宿泊費負担など、金銭的利益の提供を求められる場面が少なくありません。こうした状況で営業担当者や法務・コンプライアンス部門を悩ませるのが、国内外の厳格化する贈賄規制です。国連腐敗防止条約の発効以降、各国で規制が年々強化されています。

近年、海外ビジネスの現場では、現地コーディネーター、ディストリビューター、コンサルタントといった第三者の関与を介した贈賄スキームが急増しています。表向きは適法で整った契約書に基づき資金を拠出していても、その資金が実質的には賄賂の原資として使用されていた場合、最終的な出資者である日本企業が贈賄の罪責を問われる可能性があります。第三者リスクは、日本企業のコンプライアンス体制において最も見落とされやすい領域でありながら、一度問題が顕在化すれば重大な法的責任およびレピュテーション毀損を引き起こす潜在力を有しています。

このような贈賄規制の遵守は単なるリスク回避にとどまりません。企業の信頼性・透明性を高め、競争力を強化し、企業価値を守るための重要な取り組みです。CSRの観点からも、今やグローバル企業に不可欠な姿勢と言えるでしょう。

本セミナーの目標は、次の3点です。

- ✓ 最新の国内外贈賄規制と第三者リスクの実態を把握する
- ✓ 海外営業現場で直面する「金銭的利益の提供要求」への実践的対応策（ティップス）を習得する
- ✓ 贈賄防止体制の構築が企業全体のグローバル競争力を高めることを理解する

1. はじめに 一贈賄防止の重要性一

- (1) 贈収賄に対する国際的な規制強化の動き
- (2) 贈賄防止体制確立のプラスの側面
- (3) 様々な贈賄リスク
- (4) 米国の執行スタンスの変遷
- (5) 第二次トランプ政権の動向-ボンディ・メモ、FCPA執行停止等を内容とする大統領令等

2. 贈賄規制の様々な形態

- (1) 贈賄の多様性
- (2) 注意すべき贈賄規制は所在地の法令だけでは足りない？
- (3) 州法とFCPAの知られざる関係性

3. 国内外の贈賄規制

- (1) 日本の贈賄防止法制の最新事情
- (2) 各国の贈賄規制（東南アジア、ヨーロッパ、北米、南米等、15カ国程度）
- (3) 取引先との関係に潜む民民贈賄リスク

4. 金銭的利益の提供を要求された場合の対応手段

- (1) 贈賄防止のための体制整備
- (2) 第三者を介した金銭等の提供についての注意点ー贈賄DD、契約書上の手当等ー
- (3) 接待・贈答ルール（金額基準等）の策定
- (4) 有事の際の対応

メールアドレスは講師に開示いたしますのでご了承ください。

本セミナーについては、法律事務所ご所属の方はお申込をご遠慮願います。

【講師紹介】

2011年京都大学法学部卒業、2013年東京大学法科大学院卒業。2014年弁護士登録。2021年カリフォルニア大学バークレー校(LL.M.)修了、2022年ロンドン大学クイーンメアリー校(LL.M. in Technology, Media and Telecommunications Law)修了。2023年米国ニューヨーク州弁護士登録。2025年米国マサチューセッツ州弁護士登録。主な取扱分野は、危機管理、国際取引、コーポレート・M&A、ライフサイエンス(医薬品・化粧品、医療法人関係)。

著作:「ハッチ・ワックスマン法の功罪ー米国の製薬業界を蝕むリバーズペイメントの脅威ー」(経済産業調査会、知財ぷりずむ第254号所収、2023年)、「The Japanese Cooperation Agreement System in Practice: Derived from the U.S. Plea Bargaining System but Different」(Brill/Nijhoff, Global Journal of Comparative Law Volume 12 所収、2023年)、『The Pharma Legal Handbook: Japan』(共著、PharmaBoardroom、2022年)、『基礎からわかる薬機法体系』(共著、中央経済社、2021年)、『法律家のための企業会計と法の基礎知識』(共著、青林書院、2018年)ほか。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会
■後援 金融財務研究会
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter: <https://twitter.com/keichoken05>
Blog: <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2026年3月4日(水)
10:00~12:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8

TEL 03-5651-2030

地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅

6番出口より徒歩1分(開場は開演の30分前です。)

【Zoom 受講の場合】インターネットに繋がる

パソコンがあれば、どこでも受講できます。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。



参加費

1名につき27,000円(消費税、参考資料を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき24,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル

TEL 03-5651-2033

FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書を FAX 又は郵送いただいたお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加にならない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および金融財務研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内をお願いいたします。)

ご記入いただきました個人情報(株)経営調査研究会の開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281

みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

◇クレジットカードは Visa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

世界を駆けるビジネス、その贈賄リスク
を見抜く

【会場または Zoom】 3/4

FAX 03-5695-8005

◆参加申込書◆

年 月 日

| | | | | |
|---|-------------|------------|--|--|
| <p>下記に✓を入れてください。 <input type="checkbox"/>会場受講 <input type="checkbox"/>Zoom受講 <input type="checkbox"/>後日配信</p> <p>弊社からのお知らせ、メルマガの送信を <input type="checkbox"/>受信する <input type="checkbox"/>受信しない</p> <p>クレジットカードをご利用の場合は下記に✓を入れて下さい。 <input type="checkbox"/>クレジットカード利用</p> <p>セミナーコード 0623 (Law-k260623)</p> | 会社名 | TEL FAX | | |
| | 所在地 | 〒 | | |
| | 参加者ご氏名 | 部課名 | | |
| | 〃 | 〃 | | |
| | 〃 | 〃 | | |
| | 〃 | 〃 | | |
| 書類送付先 (同上的場合記入不要) | ご担当者 TEL | 部課名 FAX | | |

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。